

Tab60 Tab75

取扱説明書

本紙に記載された内容は製品やOSのバージョンによって変更される場合がございます。記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為必ずお守りいただくことを記載しております。

| | | |
|--|-----------|----------------------------|
| | 危険 | 死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。 |
| | 警告 | 死亡または重傷を負う恐れがある内容です。 |
| | 注意 | 軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。 |
| | | 気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。 |
| | | してはいけない「禁止」の内容です。 |
| | | 必ず実行していただく「強制」の内容です。 |

免責事項
お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 危険

- 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- 本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- 各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

⚠ 警告

- 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- 本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- 濡れた手で本製品に触らないでください。
- 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- 製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- 各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- 各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

⚠ 注意

- 静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- 動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- 以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- 本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- 使用中は熱を持ちます。低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

製品仕様

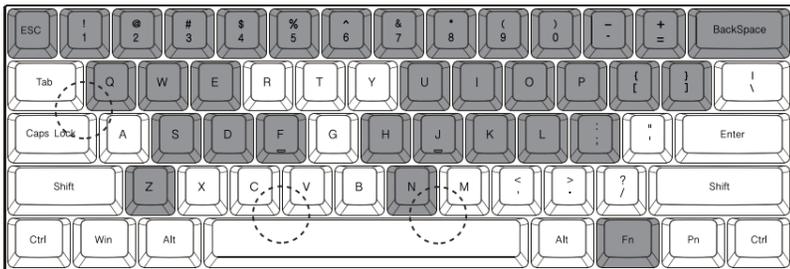
| | |
|-------------|--|
| キー配列 | 英語US ANSI配列 |
| キー数 | Tab60：61キー Tab75：84キー |
| キースイッチタイプ | メカニカル (CHERRY MX) |
| キーピッチ | 約19mm |
| Bluetooth規格 | Bluetooth ver.3.0 |
| 対応プロファイル | HID |
| 通信方式 | GFSK |
| 電波周波数 | 2.4GHz |
| 最長動作可能距離 | 10m (Bluetooth接続時・遮蔽物なきこと) |
| 有線接続 | 可能 (USBインターフェース) |
| USBコネクタタイプ | USB-C |
| 電源 | 単4乾電池2本 (Bluetooth接続時) USBパスパワー (USB接続時) |
| 定格電圧 | USB接続：5V / Bluetooth接続：2.4 - 3.6V |
| キーキャップ印字 | 昇華印刷 |
| キーキャップタイプ | DSAプロファイル |
| キーキャップ材質 | PBT (ポリブチレンテレフタレート) 樹脂 |
| キーロールオーバー | 6キーロールオーバー |
| ポーリングレート | 125Hz |
| 動作環境温度 | 温度 5~50℃ |
| 重量 | Tab60：665g Tab75：780g |
| 本体サイズ | Tab60：300(W)×117(D)×29~39(H) mm Tab75：316(W)×136(D)×29~42(H) mm |

パッケージ内容

- キーボード本体 … 1台
 - USBケーブル (USB-A ⇄ USB-C / ケーブル長：約1.8m) … 1本
 - Modifier キー用 交換カラーキーキャップセット一式
 - ユーザーマニュアル 兼 保証書 (本紙) … 1部
- 注意**
ご使用の前に、内容物がすべて揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万が一不足品、破損品がありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはアーキサイトサポート窓口までご連絡ください。

配列図 および Fn キーとの同時押し操作について

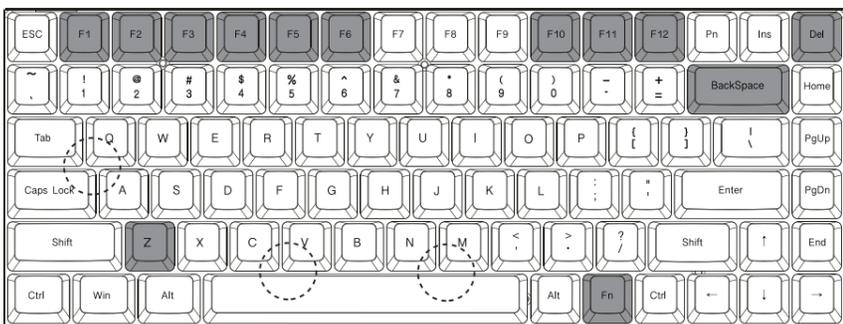
Tab60 英語 US ANSI 配列図



- Fn + 1 = F1
- Fn + 2 = F2
- Fn + 3 = F3
- Fn + 4 = F4
- Fn + 5 = F5
- Fn + 6 = F6
- Fn + 7 = F7
- Fn + 8 = F8
- Fn + 9 = F9
- Fn + 0 = 10
- Fn + _ = F11
- Fn + + = F12

- Fn + ESC = ` (バックオート)
- Fn + Q = 前のトラックに戻る
- Fn + W = 再生 / 一時停止
- Fn + E = 次のトラックに進む
- Fn + S = 音量を下げる
- Fn + D = 音量を上げる
- Fn + F = 音量ミュート
- Fn + Z = APP/Menu
- Fn + I = ↑ (矢印上)
- Fn + J = ← (矢印左)
- Fn + K = ↓ (矢印下)
- Fn + L = → (矢印右)
- Fn + P = PrintScreen
- Fn + [{ = Scroll Lock
- Fn +]} = Pause
- Fn + H = Home
- Fn + N = End
- Fn + U = PageUp
- Fn + O = PageDown
- Shift + Fn + ESC = ~ (チルダ)
- Fn + BackSpace = Delete
- Fn + ; = Insert

Tab75 英語 US ANSI 配列図



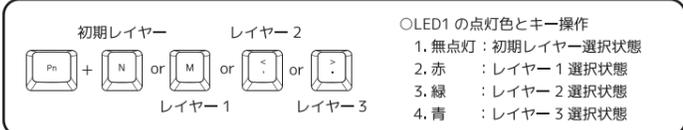
- Fn + F1 = 音量ミュート
- Fn + F2 = 音量を下げる
- Fn + F3 = 音量を上げる
- Fn + F4 = 前のトラックに戻る
- Fn + F5 = 再生 / 一時停止
- Fn + F6 = 次のトラックに進む
- Fn + F10 = PrintScreen
- Fn + F11 = Scroll Lock
- Fn + F12 = Pause
- Fn + BackSpace = 計算機
- Fn + Delete = Insert
- Fn + Z = APP/Menu

※キーキャップの印字デザインは製品と異なります。また、Fn 同時押し操作の斜面印字はありません。予めご了承ください。

LED インジケータについて

■ C キー / V キー / スペースキー間の LED (以下 LED1)

… マクロプログラミングレイヤーのステータスを表示するインジケータです。
→ Vortex Tab60 / Tab75 は4つのキーレイアウトレイヤー (階層) を持っています。
初期レイヤーはマクロプログラミングすることができません。
1 ~ 3 レイヤーのみマクロプログラミングが可能です。



- OLED1 の点灯色とキー操作
1. 無点灯：初期レイヤー選択状態
 2. 赤：レイヤー1 選択状態
 3. 緑：レイヤー2 選択状態
 4. 青：レイヤー3 選択状態

※詳しくは、「マクロプログラミングモードと設定方法 (12 ~ 14 ページ)」にて説明します。
注意：消費電力を抑えるため、無線 (BT) 接続モードでは LED1 は点灯しません。

■ CapsLock キー右上下付近の LED (以下 LED2)

… マクロプログラミングおよび BT ペアリングのステータス表示するインジケータです。
→ それぞれの機能の設定方法については、8 ~ 11 ページおよび 12 ~ 14 ページをご参照ください。

■ N キー / M キー / スペースキー間の LED (以下 LED3)

… キー配列のステータス・Win キーロックの ON/OFF を表示します。
→ QWERTY、Colemak、および Dvorak レイアウトのいずれかを選択可能です。
レイアウトを切り替えるには、Pn + 右 SHIFT を押します。



- OLED3 の点灯色
1. 無点灯：QWERTY レイアウト
 2. 緑：Colemak レイアウト
 3. 赤：Dvorak レイアウト
 4. 赤：Win キーロック ON

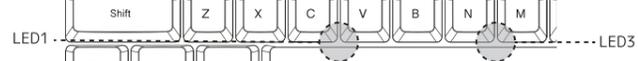
※打鍵毎に QWERTY → Colemak → Dvorak → QWERTY... と切り替わります。
→ Win キーロック ON/OFF は、Pn + Win を押して切り替えます。



注意：消費電力を抑えるため、無線 (BT) 接続モードでは LED3 は点灯しません。



- LED2
- Tab：チャンネル1 (OS・パソコン側では Vortexgear-1 と表示される) を選択
 - Caps Lock：チャンネル2 (OS・パソコン側では Vortexgear-2 と表示される) を選択
 - Shift：チャンネル3 (OS・パソコン側では Vortexgear-3 と表示される) を選択
 - Win：チャンネル4 (OS・パソコン側では Vortexgear-4 と表示される) を選択



USB モードで使う

1. PC とキーボードを USB ケーブル繋ぎます。
2. Pn + Tab で USB 接続モードに切り替えます。



無線 (BT) 接続モードで使う (ペアリング準備手順)

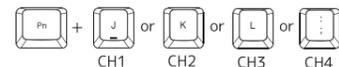
1. 単4電池2本がしっかりと入っていることを確認します。
2. キーボード背面のスイッチを ON にします。
3. Pn + | \ で無線接続モードに切り替えます。



4. Pn + 左 Alt を3秒間長押しすると LED2 が、緑色で点滅しはじめ、ペアリングモードに入ります。



5. ペアリングするチャンネルをひとつ選択します。
Pn + J …… チャンネル1 (OS・パソコン側では Vortexgear-1 と表示される) を選択
Pn + K …… チャンネル2 (OS・パソコン側では Vortexgear-2 と表示される) を選択
Pn + L …… チャンネル3 (OS・パソコン側では Vortexgear-3 と表示される) を選択
Pn + | \ …… チャンネル4 (OS・パソコン側では Vortexgear-4 と表示される) を選択



6. OS 側でペアリングを行います。
OS 側のペアリング手順に関しては、各 OS や PC メーカーの取り扱い説明やウェブサイトをご参照ください。Windows10 に関しては、9 ~ 11 ページにて参考手順を記載しております。
7. ペアリングが終了すると、CapsLock キー右下部の LED2 が消灯します。
他のチャンネルで別のデバイスとペアリングする際は、1 ~ 6 の手順を改めて行ってください。
8. 接続先のデバイスを切り替える際は、上記の Pn + J、K、L、| \ のキー操作でチャンネルの切り替えができます。チャンネル切り替えのキー操作を行うと LED2 が緑色で7回点滅→消灯します。

注意：チャンネル切り替え後、接続が復帰するまでに数秒かかる場合があります。かかる時間は接続先デバイスごとに異なります。予めご了承ください。

| ペアリングする (Windows10 の場合) |
|--|
| <p>※下記は、Windows® 標準の Bluetooth® 機能を使用する場合の説明です。お使いの端末によっては、独自の Bluetooth® 機能を使用する場合があります。その際は、それぞれの端末の取扱説明書をご確認ください。</p> |

1「設定」画面を表示する

(デスクトップモードの場合)
「スタート」→「設定」の順にタップします。
※「スタート」・・・画面左下の、Windows マークをタップ。(タブレットモードの場合)
デスクトップ画面を表示し、画面の右端から左に指をスライドさせ (スワイプし)、もしくはタスクバーから「」をタップし、アクションセンターを表示させます。右下のアイコンから“すべての設定”をタップします。



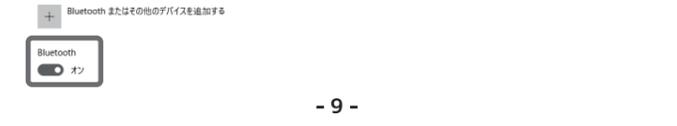
2「デバイス」画面を表示する

「デバイス」をタップします。



3 Bluetooth の設定確認

左のデバイスメニューより「Bluetooth とその他のデバイス」をタップします。「Bluetooth」がオフの場合はオンにします。「Vortexgear-＊」が“ペアリング済み”で表示されていたとしても、本製品側の Bluetooth またはその他のデバイスを追加する”横の＋アイコンをタップします。



- 9 -

ペアリング・無線接続における注意点（※必ずご確認ください）

・ペアリング先のパソコンやタブレットの仕様により、ペアリングの際に OS 側からパスワードが発行される場合があります。その場合は、パソコンやタブレットの画面の表示に従って、ペアリングを行ってください。(パスワードの入力やペアリング方法に関しては、各接続先メーカーへご確認ください)

・1 台の PC でペアリング・接続を行った後に、同じチャンネルで、別の PC とペアリング・接続を行うと、1 台目の PC とのペアリング情報はリセットされます。Windows の 設定 > デバイス > Bluetooth > マウス、キーボード、ペンの欄に、「Vortexgear-＊」が“ペアリング済み”で表示されていたとしても、本製品側のペアリング情報がすでに消去されている場合があります。その際は、「Vortexgear-＊」をタップ→「デバイスの削除」を行い、再度ペアリングをやりなおしてください。また、WindowsUpdate 後に、ペアリング情報が消去される場合があります。その際も上記手順で、再度ペアリングをやりなおしてください。

・USB ドングルタイプの受信機を使って、キーボードとのペアリングを行う際は USB2.0 ポートへドングルを接続してください。USB3.0 ポートに接続した場合、電波干渉が発生し、接続が不安定になったり、接続できない場合があります。

・接続先のパソコン等とキーボードの間に遮蔽物、特に磁性体（鉄の机など）がある場合、接続が不安定になったり、接続できない場合があります。できるだけ遮蔽物を置かないように各機器を設置してお使いください。

・接続先のパソコン等が、WiFi の 2.4GHz 帯を利用している場合、混信が発生して、接続が不安定になったり、接続できない場合があります。そういった場合は、一旦接続先の WiFi を OFF にするか、5 GHz 帯など他の周波数帯での接続に切り替えてお試しください。

・電波干渉が発生し、接続が不安定な場合、特定のキーが連打されるなどの事象が発生することがあります。そういった場合は、使用している USB ドングルタイプの受信機の設定を OS 側で変更したり、ドングル自体を別のものに交換してお試しください。

・接続先のパソコン等を再起動した際、それまで使用可能だったキーボードが動作しなくなったり、意図せずに接続が切断・スリープ状態になったり、再接続できなくなったりする場合があります。その際は、OS 側で“Bluetooth の省電力設定”を OFF にしたり、USB ドングルタイプの受信機を使用している場合は、“USB のセレクトィブサスペンド”を無効にしてください。

- 10 -

4 デバイスを追加する

デバイスを追加するの、デバイスの種類の中から、「Bluetooth」をタップします。



5 キーボード側でペアリングの準備をする

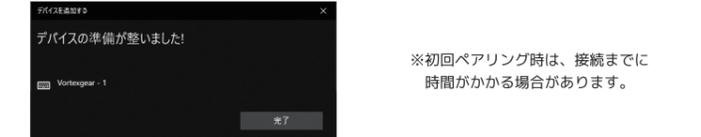
キーボード本表面にある ON/OFF スイッチが ON になっていることを確認し、8 ページを参照にキーボード側の操作を行います。

6 ペアリングを開始する

ペアリングの準備が完了すると、「Vortexgear-＊」が表示されます。「Vortexgear-＊」をタップします。（注意：“＊”はチャンネル番号）



接続されると“デバイスの準備が整いました！”と表示されます。右下の“完了”を押して終了します。キーボード側の LED2 ランプが点灯し、ペアリングが終了します。



「Vortexgear-＊」が「接続済み」となったら、正しくペアリングできています。



- 10 -

マクロプログラミングモードと設定方法

■マクロプログラミングは、下記の手順で設定します。

ステップ 1. マクロプログラミングレイヤー を選択します。
・デフォルトレイヤー・・・Pn + N を押して、FN を先に離す → LED1 は消灯状態
※デフォルトレイヤーにはマクロプログラミングはできません。
・レイヤー 1 …… Pn + M を押して、Pn を先に離す → LED1 が赤色で点灯します
・レイヤー 2 …… Pn + , < を押して、Pn を先に離す → LED1 が緑色で点灯します
・レイヤー 3 …… Pn + , > を押して、Pn を先に離す → LED1 が青色で点灯します

注意：消費電力を抑えるため、無線（BT）接続モードでは LED1 は点灯しません。

ステップ 2. Pn + 左 Ctrl を押してプログラミングモードに進みます。→ LED2 が緑色で点灯します。
ステップ 3. マクロをプログラムしたいキーを押します。→ LED2 が緑色で点滅します。
ステップ 4. プログラムしたい内容をタイプし、最後に Pn を一度押します。Pn を押すことで、プログラム設定が保存されます。→ LED2 の点滅が止まり、再び緑色に点灯します。
ステップ 5. ステップ 3 と 4 を繰り返し、その他のキーにもプログラムします。
ステップ 6. Pn + 左 Ctrl を押し、プログラミングモードから退出します。→ LED2 が消灯します。

■すでにプログラムされているキーに別のプログラムを設定しなおすすめ
ステップ 3～4 で、マクロをプログラムしたキーを 2 度押します。その後 LED2 は緑色で点滅しますので、ステップ 4 に進んでください。

■すでにプログラムされているキーに元に戻す方法
ステップ 3～4 で、マクロをプログラムしたキーを 2 度押します。その後 LED2 は緑色で点滅しますので、Pn を一度押してください。Pn + 左 Ctrl を押し、プログラミングモードから退出します。→ LED2 が消灯します。

■マクロ設定が出来ないキー
マクロ設定時に必要な下記のキーへのマクロ設定は行うことが出来ません。
・Pn キーおよび Pn キーと同時に押しするキー操作

マクロプログラミングモードと設定方法（続き）

■遅延間隔を挿入したプログラミング
文字と文字の遅延間隔の設定をした場合は、次の操作で行うことができます。

遅延間隔を 15ms にしたい場合 …… Fn + T
遅延間隔を 0,1s にしたい場合 …… Fn + G
遅延間隔を 0,5s にしたい場合 …… Fn + B
（※設定していない場合は、15ms 間隔でプログラムされます。）

また、遅延間隔をより細かく設定することもできます。但し、遅延間隔を 1 回挿入する毎に、1 キーストロークとしてカウントされます。各キーに対して、プログラミング可能なキーストローク数の制限があります。(例) Q を押した際に、“ok”と入力されるようプログラムする。
o と k の間に 1.2 秒の間隔を挿入する。

“o” を打鍵 → Fn + B x2 回打鍵 (0,5s x2=1s)
Fn + G x2 回打鍵 (0,1s x2=0,2s) → “k” を打鍵
計：1,2s

1 キーストローク
4 キーストローク
1 キーストローク

・プログラムモードで、15 秒間どのキーも押されない場合、通常モードに戻ります。

■Fn および Pn キーのリマップ機能と設定方法
Fn および Pn キーを任意の移動（割り当て）することができます。移動後、元々の Fn キー位置は右 Windows キー、Pn キー位置は、APP/Menu キーとして動作します。
なお、これらのキー位置にマクロプログラミングすることはできません。

ステップ 1：マクロプログラミングレイヤー を選択します。
・レイヤー 1 ……Pn + M を押して、Pn を先に離す → LED1 が赤色で点灯します
・レイヤー 2 ……Pn + , < を押して、Pn を先に離す → LED1 が緑色で点灯します
・レイヤー 3 ……Pn + , > を押して、Pn を先に離す → LED1 が青色で点灯します
ステップ 2：Fn もしくは Pn + 左 Shift を 3～5 秒程度長押しします。（LED1 が、青色点灯）
ステップ 3：Fn もしくは Pn を移動（リマップ）したいキーを押します。→設定が終わると、LED 1 が選択中マクロレイヤーの色で再び点灯します。

| | |
|-----------|--|
| 注意 | <p>1：FN や PN ポジションを変更し、割り当てた位置を忘れてしまった場合は、元の Pn キーを使って、レイヤーリセットをしてください。但し、一緒に選択中レイヤー内のすべてのマクロ設定もリセットされます。</p> <p>2：FN や PN のポジション変更が可能なキー、Fn + レイヤーのプログラミングが可能なキーには制限があります。</p> <p>3：FN、PN キーは、同じレイヤー内に 2 箇所以上設けることはできません。</p> |
|-----------|--|

- 13 -

⚠ワイヤレス（無線）についての注意事項

本製品は 2,4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能となります。電波方式は GFSK 方式で、想定干渉距離は 10m です。
2,4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。
●本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
●万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した際は、使用場所を変更するか、本製品の使用を停止してください。
※「他の無線局」とは、2,4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。
・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
・次の場所では、本製品を使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところ。
同じ周波数の電波を使用しているもの近く。
・本製品は、工事設計認証を受けています。以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。本製品を分解/改造や、本製品の認証ラベルを剥がすこと。

⚠警告

●誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤作動や、動作の低下、または動作しなくなることがあります。
●病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で各種電子機器や医療機器などに影響を及ぼす恐れがあります。
●航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式機器を航空機内で使用することは、法律で禁止されています。ご搭乗前に本製品の電源は必ず切ってください。

ファームウェアの更新

キーボードをより快適に利用できるようにするため、ファームウェア更新プログラムを WEB 上でご提供する場合があります。ファームウェアの更新は、Windows PC からのみ行うことができます。macOS やその他 OS からの更新はできません。WindowsPC をご用意いただく必要がございます。

| |
|--|
| <p>◎メーカーの最新ファームウェア公開のあわせて、ホームページ上で公開中の FAQ に関しても随時更新してまいります。</p> <p>http://www.archisite.co.jp/support/faqkeyboard/</p> |
|--|

| | |
|------------|---|
| <p>販売元</p> | <p>〒110-0006 東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル URL：http://www.archisite.co.jp サポートダイヤル：03-6859-0284 受付時間 10:00～12:00・13:00～17:00 (弊社指定休休日・年末年始・土日・祭祭日を除く)</p> |
|------------|---|

- 15 -

マクロプログラミングモードと設定方法（続き）

■選択中の各レイヤーを初期状態に戻す
ステップ 1：Pn + R を長押しす
ステップ 2：LED1 が白色で 3 回点滅し消灯します。点滅が終わると、レイヤーリセット完了です。

■すべてのレイヤーのプログラミングとペアリング情報を初期状態に戻す（オールリセット）
ステップ 1：左 Alt + 右 Alt を長押しす
ステップ 2：LED2 が点灯しながら LED1 が白色で 3 回点滅し消灯します。点滅が終わると、すべてのレイヤーのリセット完了です。
ステップ 3：完全にリセットするために、キーボードに接続したケーブルをすべて抜き取り、再度差し込みなおしてください。

| | |
|-----------|--|
| 注意 | <p>・レイヤーを初期化すると、マクロプログラミング設定と Fn/Pn のリマップ設定のデータが全て失われます。</p> <p>・オールリセットでは、マクロプログラミング設定と Fn/Pn のリマップ設定だけでなく無線 (BT) 接続モードのペアリング情報も全てが失われます。</p> |
|-----------|--|

Windows10 キーボードの配列設定変更

キーの印字通りに正しく入力できない場合は、OS 側でキーボードの配列設定変更が必要な場合があります。

(例) SHIFT + “2” (テンキーではないほうの“2”)を入力した際、「@」ではなく「”」が入力されてしまう → 日本語配列キーボードとして認識している。

※Windows プラグアンドプレイなどが要因となり、OS 側で勝手にキーボードの配列設定が変更されてしまう場合もございます。その場合は、下記の方法で設定変更を行ってください。

1. 左下の Windows マークをタップ（キーボードの Windows キーを押す）もしくは画面の右端をスワイプアクションセンターを立ち上げます。設定のアイコン（歯車マーク）をタップし、Windows の設定を立ち上げます。
2. 「時刻と言語」をタップします。
3. 「地域と言語」をタップします。
4. 「言語」の「英語」をタップし、「オプション」をタップします。
5. 「ハードウェアキーボードレイアウト」の「レイアウトを変更する」をタップします。

【英語配列キーボードを接続してるが、日本語配列キーボードとして認識してる場合】
レイアウトの設定が「日本語キーボード（106/108 キーボード）」になっている場合は、「英語キーボード（101/102 キーボード）」に変更し、サインアウトします。

- 14 -

製品保証書

■保証内容について
本保証書は製品が万が一故障した場合、ご購入頂いた日から保証期間内の保証を行うものです。製品の初期不良とはご購入日から1週間とし、初期不良と認められた場合は商品を交換致します。保証期間内で初期不良と認められない場合は製品を修理致します。また、本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
■無償保証範囲について
下記の場合には、保証対象外となります。
1) 保証書及び、販売店、購入年月日の確認ができる購入証明書がない場合は無効となります。
2) 保証書は日本国内のみで有効です。
3) 本製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、当社はその責任を負いません。
4) 保証期間内でも次のような場合は有償での修理となります。
A) 通常の使用以外の操作で発生した場合の故障または損害
B) 改造されたり不当な修理をされたことに起因する故障または損傷
C) お買い上げ後輸送されたことに起因する故障または損傷
D) 地震、風水害そのほか不測の事故による損傷
E) 本保証書を提示されない場合
F) 保証書の所定事項の未記入、訂正された場合
G) オークションなどを含む中古販売品、個人売買品・未開封品の二次販売等で購入した場合
■修理について
・修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社サポート窓口へ直接お問い合わせください
・修理をご依頼頂く際の送料はお客様のご負担となります。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いません。
・有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。

■免責事項
・本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
・本製品の故障に起因する差生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いません。

| 保証期間 | お買い上げ日 年 月 日 より 1年間 | | |
|-------------------|--|-----|-------------------|
| 製品型番 Model No. | VTG | TBK | (※パッケージ・ラベルに記載有り) |
| ■お客様情報 | お名前 (会社名) | | |
| ご住所 | 〒 | | |
| お電話番号 | | | |
| FAX | | | |
| Eメールアドレス | | | |
| ■保証規定に関する注意点 | <p>・本製品は購入国内での使用を前提に保証を規定しています。日本国内で販売店を通じて購入した場合は株式会社アーキサイト、海外販売代理店経由で購入した場合は各代理店の定める保証規定が適用されます。</p> <p>・本書内に掲載している保証書は、日本国内でのみ有効です。</p> | | |
| ■Warranty policy | Our service and warranty is only provided domestically in Japan. | | |

- 11 -

- 12 -

- 15 -